

理想科学は、社会への責任を果たすために、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをとり、連携を心がけながら、さまざまな活動を行っています。



お客様の満足のために

お客様への電話サポートサービスを 土曜日にも展開

理想科学の製品を土曜日でも安心してご利用いただけるように、2014年4月から、「RISO サービス&サポートシステム土曜日電話対応特約」の提供を全国で開始しました。

私立学校、不動産、冠婚葬祭関連など、土曜日でも理想製品をお使いになるお客様へのサポート体制が整いました。

コンテストを通じて CEの技術&サポート力を強化

修理や保守点検に迅速に対応し、より良い印刷環境の提案を担うカスタマーエンジニア(CE)は、理想科学とお客様との信頼関係の要となる存在です。理想科学では、「RISO TECHNICAL CHAMPIONSHIP」を通じて、CEの専門知識・技術力・顧客対応力の向上を図っています。2015年2月には12回目の全国大会が開催され、約1,200名による各地区予選を勝ち抜いた26名が出場。規定時間内で機械のトラブルを解決する実技・筆記・スピーチの各試験に挑み、スキルを競い合いました。



実技試験の様子

機器の状態を遠隔から見守り、 トラブルにも速やかに対応

インターネットを經由してお客様の「オルフィス」のコンディションを理想科学のメンテナンス用サーバーに送信する「RISOリモートエージェント」を通じて、より質の高いメンテナンスを実現しています。またRISOリモートエージェントにより送信されたメンテナンスコールエラーの際は、RISOコンタクトセンターから、電話連絡をさせていただくことで、速やかにトラブルに対応する「リモートメンテナンスコールサービス」も提供しています。



※サプライ品:インク、用紙などの消耗品

海外でも技術教育を展開し、 高いレベルのサービスを提供

アジア各国では近年、インクジェット(IJ)方式の高速カラープリンター「オルフィス」の設置台数が増加し、さらなる需要が見込まれています。理想科学では、海外においても、高い技術レベルのサービスを提供できるよう、「アジアIJトレーナー研修」を実施しています。2014年9月に、アジアの子会社・販売店10社から20名が参加し、技術情報やノウハウの共有を図りました。



アジアIJトレーナー研修の様子



働きがいのある職場環境をめざして

社員のメンタルヘルスを トータルにケア

メンタルヘルス不調の予防やセルフケアに重点を置いて、社員の心の健康づくりを支援しています。2014年度は、メンタルヘルスマネジメント検定対応セミナーを開催し、36名が参加しました。

社員一人ひとりが、自らのストレスの状態を把握し、不調に早期に気づき、セルフケアを行い、必要な助けを求めることができる姿を目標として、メンタルヘルスマネジメント検定(Ⅲ種)へのチャレンジを勉強会や模擬試験の開催などによって支援しています。さらに、社員とその家族を対象に、仕事上のパフォーマンスに影響を与える悩みや心配ごとを会社に知られることなく、専門のカウンセラーに相談できるEAP(Employee Assistance Program)も提供しています。

職場への満足度を測る 「社員意識調査」を実施

社員の会社に対する満足度向上や職場でのコミュニケーション向上を目的に、「社員意識調査」を3年ごとに実施しています。2014年度は、現状の会社・上司・職場・仕事への満足度や人事制度など、従来の質問項目に加えて、「残業に対する考え方」や「ダイバーシティへの会社の取り組み」に関する調査を行いました。「会社への満足度」について高い結果が出たほか、「仕事は自分自身の成長を促すチャンスだ」と考えている社員が多いことがわかりました。

復職支援セミナーで仕事と 子育ての両立を支援

「第一子の育児休業制度を利用し復職を予定する女性社員」を対象に、先輩社員の体験談やアドバイスを通じて復職への不安を払拭してもらうためのセミナーを毎年、開催しています。2014年度は、本社と理想開発センターで開催され、復職予定者、先輩社員あわせて計13名が参加しました。復職予定者からは、「不安が軽減され、復職が楽しみになった」「育児と仕事を両立している先輩の姿を見て、自分も頑張ろうと思った」といった感想が寄せられました。



復職支援セミナーの様子

Voice

職場の応援が支えとなり、 障がい者水泳大会でW優勝

筑波工場製造二課 北嶋 昇



「第14回全国障害者スポーツ大会」(2014年11月・長崎)に参加し、水泳競技・聴覚障害部門の50m・25m自由形の両方で優勝し、25mについては大会新記録を樹立することができました。こうした成果を残すことができたのも、上司や職場の仲間が協力し、練習をサポートしてくれたおかげだと思っています。



地域社会の一員として

宇部工場の緑のカーテンが 最優秀賞を受賞

宇部工場では、省エネ・地球温暖化防止に貢献する身近な取り組みとして、緑のカーテンづくりを継続して行ってきました。2014年は、ゴーヤを育てて、管理棟南側の2階までを覆う幅15m×高さ5mの緑のカーテンを完成させ、宇部市が主催する「平成26年度 緑のカーテンコンテスト」で事業所部門の最優秀賞を受賞しました。



最優秀賞を受けた緑のカーテン

「オルフィス」を設置して、 模擬国連の運営をサポート

世界に通用する若手人材の育成をめざす「第8回全日本高校模擬国連大会」(2014年11月・東京)の運営をサポートしました。高校生たちが各国の大使役を務め、英語で討議を行う模擬国連では、短時間で決議案や修正案を印刷・配布することが求められ、「オルフィス」の高速印刷技術が活躍しました。



模擬国連の様子

印刷をテーマとした出張授業で、 環境教育をお手伝い

2004年から、神奈川県川崎市立柘形中学校の環境教育プログラムに出張授業を通じて協力しています。2014年は11月28日に開催された「平成26年度 環境教育ワークショップ」に参加し、29名の中学生たちに、「孔版印刷の歴史」「環境に配慮した印刷」について学んでもらいました。さらに、ガリ版印刷、リソグラフ印刷の各方式で新聞づくりを実習し、印刷の進化を実体験してもらいました。



出張授業の様子

さまざまな 社会貢献活動を各地で実施

●社員食堂に寄付金付きメニュー

気軽に社会貢献活動に参加できる機会の提供として、2014年4月から宇部工場の社員食堂に、寄付金付きメニューを採用しました。集まったお金は、認知症の高齢者などを支援する赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト実行委員会」に寄付しました。



社員食堂の寄付金付きメニューの一例

●広島市内の豪雨災害に対する義援金寄付

2014年8月に発生した広島市内の豪雨災害で被害を受けた方々へのお見舞いとして、被災者支援と被災地の復興に役立てていただくため、広島市に対し100万円の義援金を寄付しました。

●ネパール地震災害に対する義援金寄付

2015年4月にネパール中部で発生した地震災害で被害を受けた方々に、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームを通じて100万円の義援金を寄付しました。

●事業所近隣の清掃活動

「しづやの日」(4月28日)に行われる「渋谷区一斉清掃」に2010年から参加しています。2014年度は、東京オリンピックの開催に伴う訪日外国人の増加を見据えて環境美化の取り組みを強化するため10月7日にも実施され、いずれの日も渋谷支店のメンバーが渋谷駅周辺の清掃に励みました。



「渋谷区一斉清掃」の様子